



2023年度 第2四半期 決算補足説明資料

2023年10月31日

南海電気鉄道株式会社（東証プライム市場 9044 <https://www.nankai.co.jp/>）

目次

I. 2023年度 第2四半期 決算概要	P. 2
1. 業績ハイライト	P. 3
2. セグメント別の状況	P. 4
3. 営業外・特別損益の状況	P. 15
4. 資産、負債及び純資産の状況	P. 16
5. キャッシュ・フローの状況	P. 17
II. 2023年度 通期業績予想	P. 18
1. 業績ハイライト	P. 19
2. セグメント別の状況	P. 20

I. 2023年度 第2四半期 決算概要

1. 業績ハイライト

(単位:百万円)

	2023/2Q 実績 (A)	2022/2Q 実績 (B)	対2022/2Q実績		2023/2Q 期初予想 (2023年4月公表) (C)	対2023/2Q期初予想	
			増減額 (A-B)	増減率		増減額 (A-C)	増減率
営業収益	117,672	108,240	9,431	8.7%	119,400	△ 1,727	△ 1.4%
営業利益	14,237	9,446	4,791	50.7%	9,900	4,337	43.8%
営業外収益	974	854	120	14.1%			
営業外費用	1,944	2,085	△ 140	△ 6.7%			
経常利益	13,268	8,215	5,052	61.5%	8,900	4,368	49.1%
特別利益	156	390	△ 234	△ 60.0%			
特別損失	525	593	△ 68	△ 11.5%			
親会社株主に帰属する 四半期純利益	8,867	7,116	1,750	24.6%	6,300	2,567	40.8%

<主な増減理由:対2022/2Q実績>

運輸業における輸送人員の増加や不動産業におけるマンション販売の増加等により増収増益

<主な増減理由:対2023/2Q期初予想>

貨物運送業における取扱高の減少等により減収となった一方、不動産業におけるマンション販売の下期からの前倒しに加え、バス事業における輸送人員の回復等により増益

‘なんかいいね’があふれてる

2. セグメントの構成状況（2023年9月末現在）

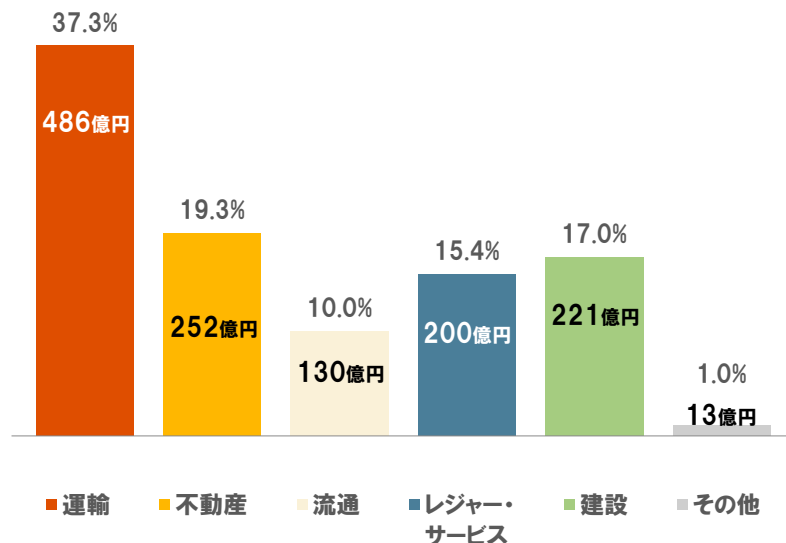
【連結子会社54社・非連結子会社17社・持分法非適用関連会社6社】

（対2023年3月末 増減なし）

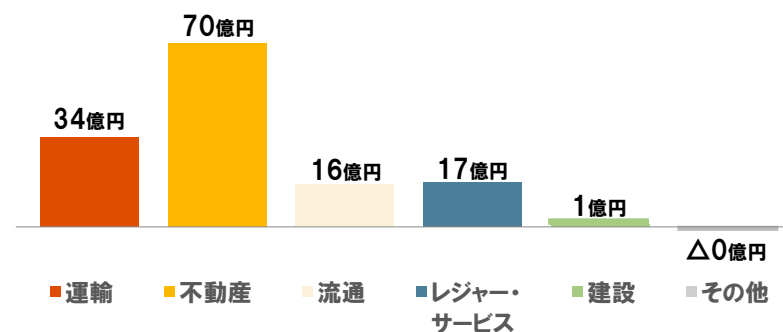


※当社は運輸業、不動産業、流通業、レジャー・サービス業に、泉北高速鉄道株式会社は運輸業と不動産業に重複して含まれております。

【セグメント別営業収益】



【セグメント別営業利益】

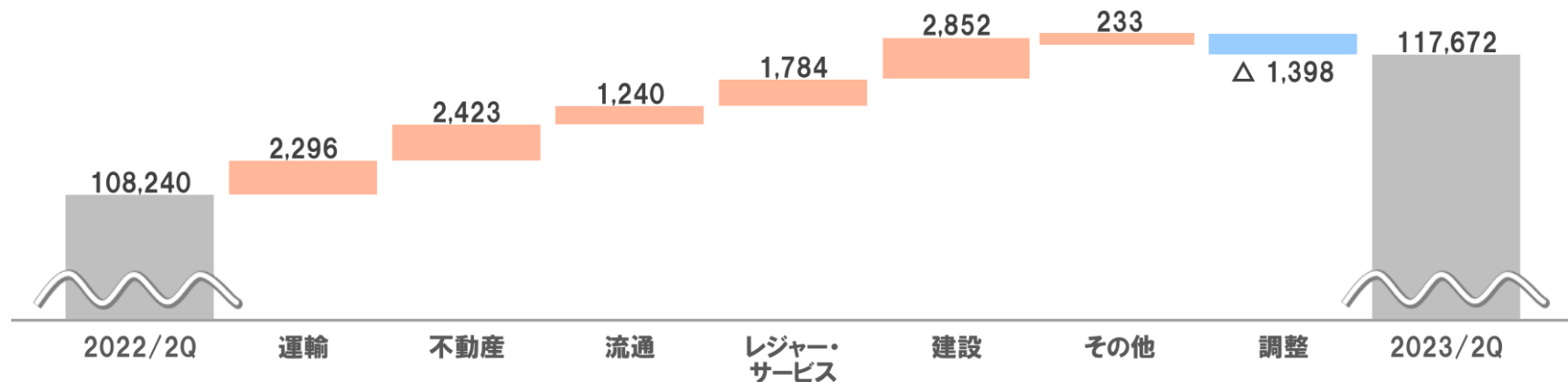


※ 構成比:セグメント間取引を含む営業収益に対する比率

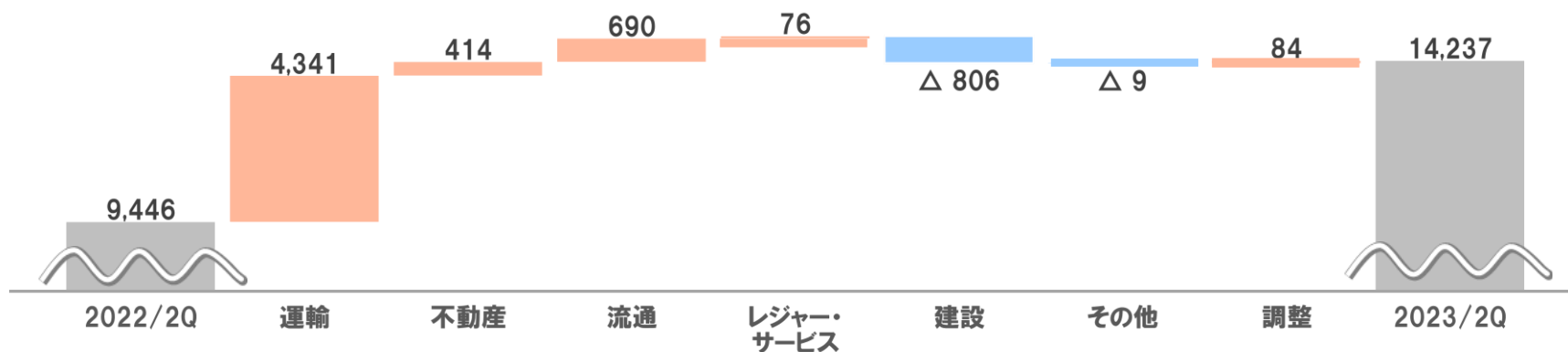
2. セグメント別営業収益・営業利益

① 営業収益の増減額（対2022/2Q比較）

（単位：百万円）



② 営業利益の増減額（対2022/2Q比較）



2. セグメント別営業収益・営業利益

(単位:百万円)

	営業収益				営業利益			
	2023/2Q 実績	2022/2Q 実績	増減額	増減率	2023/2Q 実績	2022/2Q 実績	増減額	増減率
運輸業	48,632	46,335	2,296	5.0%	3,456	△ 885	4,341	—
不動産業	25,218	22,794	2,423	10.6%	7,072	6,657	414	6.2%
流通業	13,064	11,824	1,240	10.5%	1,616	925	690	74.6%
レジャー・サービス業	20,097	18,312	1,784	9.7%	1,701	1,624	76	4.7%
建設業	22,172	19,319	2,852	14.8%	173	980	△ 806	△ 82.3%
その他の事業	1,313	1,080	233	21.6%	△ 58	△ 49	△ 9	—
調整額	△ 12,826	△ 11,427	—	—	276	192	—	—
合計	117,672	108,240	9,431	8.7%	14,237	9,446	4,791	50.7%

2. セグメント情報(運輸業)

(単位:百万円)

運輸業	2023/2Q 実績	2022/2Q 実績	増減額	増減率
営業収益	48,632	46,335	2,296	5.0%
鉄道事業	30,999	26,500	4,498	17.0%
バス事業	11,536	8,982	2,553	28.4%
その他の運輸業	9,389	13,870	△ 4,480	△ 32.3%
調整額(セグメント内)	△ 3,293	△ 3,018	—	—
営業利益	3,456	△ 885	4,341	—
主な内訳				
鉄道事業	2,472	△ 400	2,872	—
バス事業	1,031	△ 790	1,822	—

<主な増減理由>

・貨物運送業における減収があったものの、鉄道事業やバス事業において前年同期と比べ輸送人員が増加したこと等により増収増益

‘なんかいいね’があふれてる

2. 鉄道旅客収入及び輸送人員表(個別)

(単位:百万円・千人)

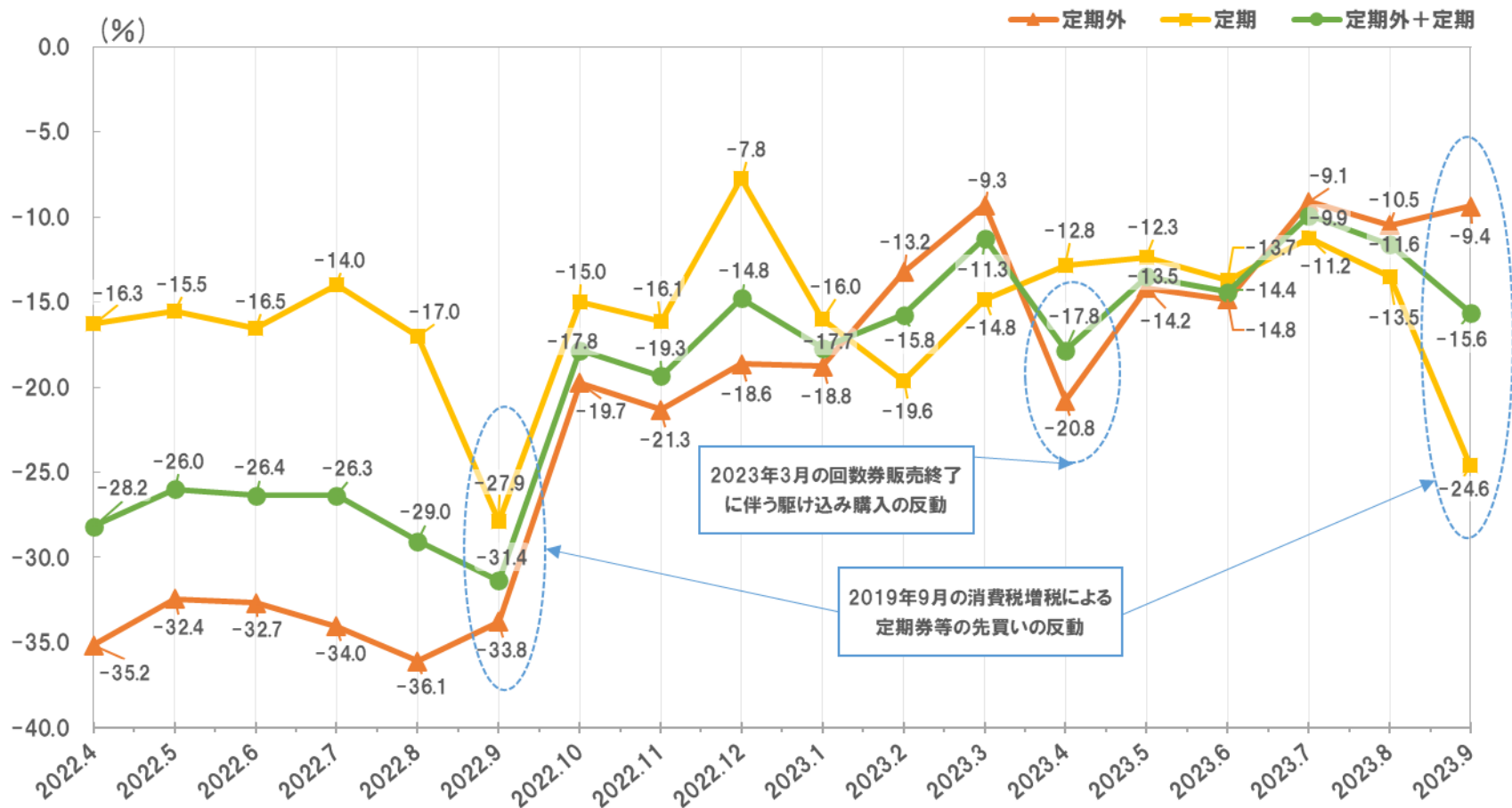
全線			2023/2Q 実績	2022/2Q 実績	増減	増減率
旅客収入	定期外		16,254	12,339	3,914	31.7%
	定期		9,941	9,572	369	3.9%
	合計		26,196	21,912	4,284	19.6%
輸送人員	定期外		44,446	38,331	6,115	16.0%
	定期		63,768	61,958	1,810	2.9%
	合計		108,214	100,289	7,925	7.9%

空港線			2023/2Q 実績	2022/2Q 実績	増減	増減率
旅客収入	定期外		4,247	1,604	2,643	164.8%
	定期		605	421	183	43.4%
	合計		4,853	2,025	2,827	139.5%
輸送人員	定期外		5,308	2,230	3,078	138.0%
	定期		2,018	1,443	575	39.8%
	合計		7,326	3,673	3,653	99.5%

‘なんかいいね’があふれてる

2. セグメント情報(運輸業)

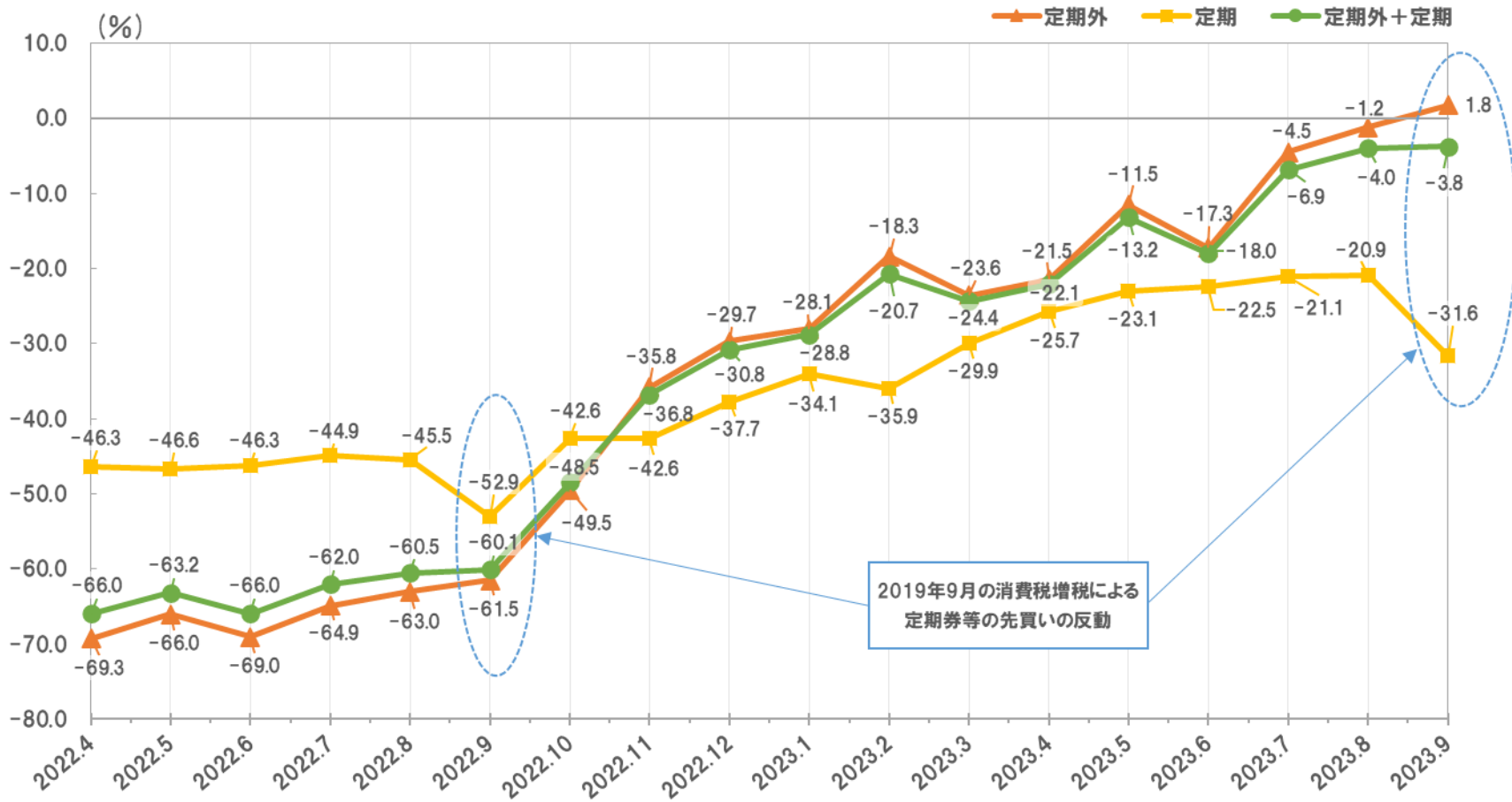
【参考1】(個別－全線)鉄道旅客収入 2019年同月比増減率の推移



※ 2021年4月以降、「収益認識に関する会計基準」等を適用しておりますが、影響額を調整せず単純比較で増減率を算出しております。

2. セグメント情報(運輸業)

【参考2】(個別-空港線)鉄道旅客収入 2019年同月比増減率の推移



※ 2021年4月以降、「収益認識に関する会計基準」等を適用しておりますが、影響額を調整せず単純比較で増減率を算出しております。

2. セグメント情報(不動産業)

(単位:百万円)

不動産業	2023/2Q 実績	2022/2Q 実績	増減額	増減率
営業収益	25,218	22,794	2,423	10.6%
不動産賃貸業	17,481	16,782	698	4.2%
不動産販売業	8,118	6,166	1,952	31.7%
調整額(セグメント内)	△ 381	△ 154	—	—
営業利益	7,072	6,657	414	6.2%
主な内訳				
不動産賃貸業	6,317	6,185	131	2.1%
不動産販売業	837	549	288	52.5%

<主な増減理由>

- ・不動産賃貸業は、入国制限の解除に伴うホテル賃貸料収入の増加等により増収増益
- ・不動産販売業は、マンション販売の増加等により増収増益

2. セグメント情報(流通業)

(単位:百万円)

流通業	2023/2Q 実績	2022/2Q 実績	増減額	増減率
営業収益	13,064	11,824	1,240	10.5%
ショッピングセンターの経営	7,224	6,788	436	6.4%
駅ビジネス事業	6,628	5,661	967	17.1%
その他の流通業	109	260	△ 150	△ 57.8%
調整額(セグメント内)	△ 899	△ 886	—	—
営業利益	1,616	925	690	74.6%
主な内訳				
ショッピングセンターの経営	895	482	413	85.6%
駅ビジネス事業	742	488	254	52.1%

<主な増減理由>

- ・ショッピングセンターの経営は、賃貸料収入が増加したこと等により増収増益
- ・駅ビジネス事業は、ブランド転換を実施したコンビニエンスストアの売上が好調に推移し増収増益

‘なんかいいね’があふれてる

2. セグメント情報(レジャー・サービス業)

(単位:百万円)

レジャー・サービス業	2023/2Q 実績	2022/2Q 実績	増減額	増減率
営業収益	20,097	18,312	1,784	9.7%
ビル管理メンテナンス業	11,725	10,504	1,220	11.6%
その他のレジャー・サービス業	9,358	8,739	619	7.1%
調整額(セグメント内)	△ 986	△ 931	—	—
営業利益	1,701	1,624	76	4.7%
主な内訳 ビル管理メンテナンス業	517	300	216	72.1%

<主な増減理由>

- ・ビル管理メンテナンス業は、設備工事収入の増加等により増収増益
- ・その他のレジャー・サービス業は、旅行需要の回復等により増収となった一方、売上原価や経費等の増加により減益

2. セグメント情報(建設業 / その他の事業)

(単位:百万円)

建設業	2023/2Q 実績	2022/2Q 実績	増減額	増減率
営業収益	22,172	19,319	2,852	14.8%
建設業	22,180	19,320	2,859	14.8%
調整額(セグメント内)	△ 8	△ 0	—	—
営業利益	173	980	△ 806	△ 82.3%

<主な増減理由> 完成工事高の増加等により増収、利益率の低下等により減益

(単位:百万円)

その他の事業	2023/2Q 実績	2022/2Q 実績	増減額	増減率
営業収益	1,313	1,080	233	21.6%
その他の事業	1,334	1,092	241	22.1%
調整額(セグメント内)	△ 20	△ 12	—	—
営業利益	△ 58	△ 49	△ 9	—

<主な増減理由> システム収入の増加等により増収、売上原価や経費等の増加により減益

‘なんかいいね’があふれてる

3. 営業外・特別損益の状況

(単位:百万円)

	2023/2Q 実績	2022/2Q 実績	増減額	摘要
営業外収益	974	854	120	
受取利息	13	13	△ 0	
受取配当金	640	524	116	
雑収入	321	316	4	
営業外費用	1,944	2,085	△ 140	
支払利息	1,711	1,798	△ 86	
雑支出	232	286	△ 53	
特別利益	156	390	△ 234	
工事負担金等受入額	153	178	△ 25	
補助金	—	195	△ 195	
その他	2	16	△ 13	
特別損失	525	593	△ 68	
投資有価証券評価損	332	—	332	
工事負担金等圧縮額	150	158	△ 7	
関係会社整理損	—	197	△ 197	
その他	42	237	△ 195	

‘なんかいいね’があふれてる

4. 資産、負債及び純資産の状況

(単位:百万円)

	2023/2Q末	2022年度末	増減額	主な増減理由												
流動資産	87,536	103,616	△ 16,080	<ul style="list-style-type: none"> ●流動資産 ・現金及び預金の減少 △132億円 ・未収金の回収による流動資産その他の減少 △52億円 												
固定資産	838,879	831,497	7,382	<ul style="list-style-type: none"> ●固定資産 ・投資有価証券の増加 +80億円 												
資産合計	926,415	935,113	△ 8,697	<ul style="list-style-type: none"> ●負債 												
負債合計	641,192	660,526	△ 19,334	<p>【有利子負債残高】 (単位:億円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2023/2Q末</th> <th>2022年度末</th> <th>増減額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有利子負債</td> <td>4,476</td> <td>4,745</td> <td>△ 268</td> </tr> <tr> <td>純有利子負債</td> <td>4,224</td> <td>4,361</td> <td>△ 136</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・前受金の増加 +70億円 		2023/2Q末	2022年度末	増減額	有利子負債	4,476	4,745	△ 268	純有利子負債	4,224	4,361	△ 136
	2023/2Q末	2022年度末	増減額													
有利子負債	4,476	4,745	△ 268													
純有利子負債	4,224	4,361	△ 136													
純資産	285,223	274,586	10,636	<ul style="list-style-type: none"> ●純資産 ・親会社株主に帰属する四半期純利益 +88億円 ・その他有価証券評価差額金の増加 +46億円 ・剰余金の配当 △28億円 												
負債純資産合計	926,415	935,113	△ 8,697													

‘なんかいいね’があふれてる

5. キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)

	2023/2Q 実績	2022/2Q 実績	増減額	主な増減理由
営業活動による キャッシュ・フロー	20,739	15,371	5,367	<ul style="list-style-type: none"> ●営業活動によるキャッシュ・フロー <ul style="list-style-type: none"> ・税金等調整前四半期純利益 +48億円 ・仕入債務の増減 +10億円
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 4,153	△ 11,852	7,698	<ul style="list-style-type: none"> ●投資活動によるキャッシュ・フロー <ul style="list-style-type: none"> ・固定資産の取得による支出 +43億円 ・固定資産の売却による収入 +34億円
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 29,868	△ 7,909	△ 21,958	<ul style="list-style-type: none"> ●財務活動によるキャッシュ・フロー <ul style="list-style-type: none"> ・有利子負債増減額 △220億円 ○当期 <ul style="list-style-type: none"> 借入金 △248億円 社債 △100億円 コマーシャル・ペーパー +80億円 ○前期 <ul style="list-style-type: none"> 借入金 △118億円 コマーシャル・ペーパー +70億円
現金及び現金 同等物の期末残高	24,257	31,710	△ 7,452	

‘なんかいいね’があふれてる

II. 2023年度 通期業績予想

1. 業績ハイライト

(単位:百万円)

	2023年度			主な増減要因	2022年度 実績 (C)	増減額 (A-C)
	修正予想 (A)	期初予想 (B)	増減額 (A-B)			
営業収益	248,000	253,900	△ 5,900	<ul style="list-style-type: none"> ●営業収益 物件販売収入の増加を織り込むも、貨物運送業や建設業を中心に収入が落ち込み減収を見込む ●営業利益 コロナ禍からの順調な回復に加え、物件販売収入の増加により増益 ●親会社株主に帰属する当期純利益 経常増益により増益 ●投資額 投資時期の見直し等による減少 ●有利子負債残高 増益によるキャッシュ・フローの改善と投資額の減少等に伴い減少 	221,280	26,719
営業利益	27,200	24,300	2,900		21,023	6,176
経常利益	25,400	21,400	4,000		18,965	6,434
親会社株主に帰属する 当期純利益	21,800	18,200	3,600		14,623	7,176
投資額	48,100	52,300	△ 4,200		27,872	20,227
減価償却費	27,600	28,200	△ 600		27,619	△ 19
E B I T D A ※	56,000	53,700	2,300		49,645	6,354
有利子負債残高	438,600	451,400	△ 12,800		474,514	△ 35,914
純有利子負債残高	416,100	429,800	△ 13,700		436,105	△ 20,005
有利子負債残高 / E B I T D A ※ 倍率	7.8倍	8.4倍	△ 0.6pt		9.6倍	△ 1.8pt
純有利子負債残高 / E B I T D A ※ 倍率	7.4倍	8.0倍	△ 0.6pt	8.8倍	△ 1.4pt	

‘なんかいいね’があふれてる

※ 営業利益+受取配当金+減価償却費

2. セグメント別営業収益・営業利益

(単位:百万円)

		2023年度			主な増減要因	2022年度 実績 (C)	増減額 (A-C)
		修正予想 (A)	期初予想 (B)	増減額 (A-B)			
運 輸 業	営業収益	105,400	108,400	△ 3,000	・バス事業+7億円 定期外旅客輸送の増 ・貨物運送業△41億円 輸送運賃下落、取扱高の減	95,532	9,867
	営業利益	7,100	5,900	1,200	・鉄道事業+8億円 増収、動力費の減 ・バス事業+5億円	1,152	5,947
不 動 産 業	営業収益	53,600	52,800	800	・不動産販売業+6億円 物件販売収入の増	44,627	8,972
	営業利益	13,700	11,800	1,900	・不動産賃貸業+6億円 ホテル賃貸料収入の増、水道光熱費の減 ・不動産販売業+13億円 物件販売収入の増	12,570	1,129
流 通 業	営業収益	25,900	25,200	700	・駅ビジネス事業+9億円 コンビニエンスストア収入の増	23,607	2,292
	営業利益	1,900	1,600	300	・駅ビジネス事業+1億円 ・SC経営+1億円	1,710	189

‘なんかいいね’があふれてる

2. セグメント別営業収益・営業利益

(単位:百万円)

		2023年度			主な増減要因	2022年度 実績 (C)	増減額 (A-C)
		修正予想 (A)	期初予想 (B)	増減額 (A-B)			
レジャー・ サービス業	営業収益	43,100	43,400	△ 300	・旅行業+2億円 ・その他レジャー・サービス業△7億円 eスポーツ事業の減	39,851	3,248
	営業利益	2,600	2,600	—	・旅行業+1億円 ・ボートレース施設賃貸業△2億円 ・ビル管理メンテナンス業+1億円	3,550	△ 950
建設業	営業収益	45,800	48,400	△ 2,600	完成工事高の減	43,662	2,137
	営業利益	1,800	2,300	△ 500		1,889	△ 89
その他の 業	営業収益	3,700	3,100	600		2,963	736
	営業利益	100	100	—		175	△ 75
調整額	営業収益	△ 29,500	△ 27,400	—		△ 28,964	—
	営業利益	△ 0	△ 0	—		△ 25	—
合計	営業収益	248,000	253,900	△ 5,900		221,280	26,719
	営業利益	27,200	24,300	2,900		21,023	6,176

‘なんかいね’があふれてる

2. セグメント別投資額・EBITDA

(単位:百万円)

	投資額			修正予想額 主な内訳	EBITDA ※1		
	2023年度				2023年度		
	修正予想 (A)	期初予想 (B)	増減額 (A-B)		修正予想 (A)	期初予想 (B)	増減額 (A-B)
運 輸 業	27,900	30,100	△ 2,200	<収益拡大投資 113億円> ・なんばエリア周辺開発 67億円 ・私募リート設立 13億円 <安全・更新投資 317億円> ・鉄道関連工事 173億円 車両新造、高架橋補強等 ・不動産および 流通施設工事 67億円 <未来探索投資 61億円> ・新規事業 8億円	22,600	21,700	900
不 動 産 業	13,000	14,400	△ 1,400		21,500	19,700	1,800
流 通 業	5,200	5,300	△ 100		5,900	5,700	200
レジャー・ サービス業	2,800	3,400	△ 600		3,800	3,900	△ 100
建 設 業	100	100	—		1,900	2,400	△ 500
その他の事業	100	0	100		100	100	—
調 整 額	△ 1,000	△ 1,000	—		※2 200	※2 200	—
合 計	48,100	52,300	△ 4,200		56,000	53,700	2,300

※1 営業利益+受取配当金+減価償却費

※2 EBITDAの調整額はセグメント間取引消去と受取配当金の合計額であります。

2. 運輸業 鉄道旅客収入と輸送人員表(個別)

【当社鉄道線 修正予想の前提条件】

- ・新型コロナウイルス感染症による減収影響は残るものの、足元のインバウンド旅客の状況を踏まえ、空港線(定期外)は期初予想に比べ回復スピードが早まり、既設線(定期外)は期初予想並みに推移すると見込む。

(単位:百万円・千人)

全線		2023年度 修正予想	対前期 増減率	2023年度 期初予想	対前期 増減率	2022年度 実績	対前期 増減率
旅客収入	定期外	33,606	22.3%	34,032	23.8%	27,486	33.8%
	定期	20,830	9.8%	20,462	7.9%	18,971	2.6%
	合計	54,437	17.2%	54,495	17.3%	46,457	19.0%
輸送人員	定期外	89,256	8.7%	92,585	12.8%	82,077	24.4%
	定期	126,342	3.8%	124,712	2.5%	121,694	4.1%
	合計	215,598	5.8%	217,297	6.6%	203,771	11.4%

空港線		2023年度 修正予想	対前期 増減率	2023年度 期初予想	対前期 増減率	2022年度 実績	対前期 増減率
旅客収入	定期外	8,960	80.9%	7,862	58.7%	4,953	124.8%
	定期	1,490	67.4%	1,267	42.4%	889	14.0%
	合計	10,450	78.8%	9,130	56.2%	5,843	95.8%
輸送人員	定期外	10,734	65.3%	9,708	49.5%	6,494	103.3%
	定期	4,152	37.5%	3,430	13.6%	3,020	14.8%
	合計	14,886	56.5%	13,138	38.1%	9,514	63.3%

‘なんかいいね’があふれてる

【将来に関する記述等についてのご注意】

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因によって異なる可能性があります。

南海電気鉄道株式会社